



# つゆき佳代通信

2021年6月25日発行 No. 016

露木佳代 ☎ 090-6175-9707

メルマガ、ブログ、Facebook、Twitterで情報発信中

1976年 秦野市生まれ 法政大学法学部政治学科卒業  
システムエンジニアを経てルポライターへ

2004年 「ビッグイシューと陽気なホームレスの復活戦」上梓

2008年 「ママ&キッズに優しい町、二宮を目指す会」発足  
子育て支援紙「Vent」発行

2014年 二宮町議会議員選挙 初当選

2021年 6月末日をもって辞職

HP  
ブログ  
Email

つゆき佳代 検索

tsuyuki\_kayo@yahoo.co.jp



↑友だち追加

昨年年度、ある職員が病  
気休暇を取ったことで私  
はこれまで以上に危機感  
を持った。若手職員が他  
の自治体の採用試験を受  
けていることは分かっ  
ていたが、転職を聞いたば  
かりだったのもあったか

## 職員の病気休暇と危機感

私はこれまで職員が働  
く意欲を高く持てるよう  
な人事評価、職員提案制  
度、専門性の向上、過度  
にストレスがかかる業務  
の外注、副業の推進、第  
三者相談窓口設置等、さ  
まざまな提案をしてきた。  
各職員が最大のパフォー  
マンスを発揮することが  
町民の幸福に繋がると信  
じてきたからである。

## 高ストレス診断を受けた 風通し良い職場づくりを 職員は30名



## 町行政は 私たちが生きる最後の砦 職員は尊い職務に誇りを！

現在、総務課が職員か  
らハラスメント等の相談  
を受けた場合、対応方法  
における心理士や弁護士  
等への相談体制はなく、

## 抜本的対策せず数年経過

もしれない。  
いち職員として「職  
員に対する安全配慮  
義務についての要望」  
を作成。町長、副町  
長、総務部長に理由  
を説明して提出した。  
これは私自身の記  
憶と人事配置記録を  
照合し、10年を遡っ  
てその間に休職した  
職員ごとに、当時の  
部署、上司・部下の名前  
と人数、担当業務、背景  
などを調査し、可能な限  
り多くの職員から聞き取  
りも提議したものである。  
うつ病の再発で休暇を  
再取得する割合は、復帰  
から1年で約3割、2年  
で約4割、5年以内で約  
5割であり、休む期間も  
1回目が平均107日に対し  
2回目は約1.5倍になると  
いう厚労省のデータがあ  
る。提出した要望書には、  
10年間に休職が発生した  
原因の再調査も依頼した  
が、5カ月半を経て来た  
回答は「調査の必要はな  
い」というものだった。

長く言えばケースバイ  
ケース、悪く言えば場当  
たりのになり、本人や周  
囲が気軽に相談できる第  
三者の専門家もいない。  
鎌倉市では、内・外部  
に複数の窓口があり、弁  
護士相談もできる。直接  
不正等も訴えられる「市  
長ホットライン」など選  
択肢が複数あるため職員  
が声をあげやすい。行政  
組織でもここまでできる  
のかと驚く内容の「職員  
意識調査」は、ぜひ町長  
にHPで見してほしい。  
実は町にも、課題はあ  
るが機能していると思わ  
れる消防職員委員会とい  
う制度がある。これは労  
働三権が認められない消  
防に、世界労働機関の見  
解に基づき団結権認めら  
れるようにした措置で、  
匿名で議案を提出でき、  
議論、集約、検討、提案  
まで職員自行なう。か  
つて発覚した町の条例違  
反（30年以上の時間外手  
当未払い）はここで議題  
になったために認識でき、  
是正を促せたのである。  
私が一般質問で提案し  
た、働き方に関する「二  
宮たのしごと改革」は当  
時から3年目の今年、調  
査・変化を経て結果が出  
る年のはずだった。

組合がない二宮町。早  
急な体制づくりを求める。



←菜の花畑のニーノ(ミーヤが探していたのはニーノという名の居場所だった説!!)

## 露木人語



ワカバさんのお気に入り  
はオリーブ畑と電車が見える  
山の上の畑からの帰り道  
(みきかよこさん撮影)

「これまで15回も引つ越  
してきましたが、二宮を  
終の棲家に決めました」  
とリタイア世代の方が教  
えてくれました。  
二宮町のキャラクター  
(ニーノ&ミーヤ)の作  
者であり子ども向けアニ  
メーション動画、NHK  
の番組キャラクターや企  
業広告等でも全国的に有  
名な《東京ハイジ》のワ  
カバさんも13年前に二宮  
に来るまで「飽きちゃう  
から2年おきに10回も引  
越していました」だそう。  
『菜の花畑のニーノ』の  
歌詞「どこに住んでもよ  
そ者気分」なのは、実は  
ワカバさんの気持ち。で  
も町を知れば知るほど  
「僕の隙間がうまって」  
いき「おかえりと両手広  
げる」この町に定住。  
もう13年になるそうです。  
今は仕事に加え、地元  
の方・移住者の老若男女で  
子どもを真ん中に置いた  
食、畑、居場所づくり、  
などに奔走する日々。  
みんなが「この町の魔  
法に」かかってしまう。  
本当に素敵な町、二宮。

# 令和3年度 政務活動費報告

(二宮町は1年間に9万円支給)

**露木の活動費 168,153円/年**  
(うち、広報費が141,501円)

主にニュース発行(2回分)  
A3サイズ2つ折り(11,000部)  
A4サイズ(10,000部)  
※どちらも全戸配布しました。

白黒コピーより安いネット印刷を利用。  
歩き切れない分は、ポスティングや  
新聞折込を業者に依頼。

※昨年度は約5万円の寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。

# 誰もが吾妻山からの絶景が見られますよう…



町には「自然環境に配慮を！」という要望もきているそう。人にも自然にも優しい二宮町でありたい。

オフシーズンの車両送迎  
まずはお試しから！

高齢だったり、障がいがあるなどで、吾妻山に登ることが難しかった方々を車両送迎できるようにするため、町は今年度、山頂までの一部の園路舗装と拡幅工事を行なう。これは総務建設経済常任委員会からの提言を受けたもの。

最終的には年間通し、環境に配慮した手段で送迎できることを目指すが、安全確保と課題抽出のため、まずはオフシーズンにタクシーで試行。11〜12月ぐらいの時期で、対象条件や公募するかなどは未定。

## 6月末日をもって 議員を辞職いたします 皆さまには心より、感謝申し上げます

6月議会終了後、辞職願を提出しました。そして6月25日、議長より辞職許可通知をいただき、6月いっぱい議員を辞めることに致しました。

ここ1、2年、町に対して非常にもどかしい思いを持ち「何を提案しても、訴えても、なんら太刀打ちできない」という行き詰った感覚と、空回りを感じ、自分自身の知識や経験、人脈が足りないことなど、能力不足を実感していました。

そのような状況下で、参議院議員の秘書のお話をいただきました。町議の任期があと1年4ヵ月あったため、相当悩みましたが、国から地方へ下ろされる業務や制度、



これまで傍聴もありがとうございました



皆さんの生活を守る最後の砦は町役場です。最後の一般質問は、職員へエールを込めて。

お金の流れや、なぜ本当の地方自治が実現できないのかなど、自分がずっと疑問に思っていたことを学べるのではないかと考えました。そして、任期を全うしない責任は大きいけれども、力のなさを自覚している自分がこのまま議員をし続けることが責任を取るようになるのだろうか？、もし任期を全うしたとしても、何も変わらず3期目に手を挙げることはしないのでは、と考えたとき、やはり学びに出ようと決断しました。

今や同じ情報を全世界同時に受け取れるようになりました。スマホがここまで普及していなかった10年前には考えられなかったスピードで時代が変化しています。たかが1年、されど1年、残り任期の1年4ヵ月は非常に貴重だとも思い、そして今回のような「人とながるタイミング」も大切にしたい、という気持ちになりました。

7月からは国会議員秘書として仕事をさせていただきます。言うまでもなく、国政は人々の暮らしの基本となるので、誰もが不快な思いや、つらい思いをし続けることなく、心地よく安心して暮らせる社会を形成するために重要です。ただ、多くの人々が救われる制度があるとしても、その制度の隙間に落ちてしまう人が必ず出ます。寄り添えるのは、やはり町です(もちろんそこからこぼれ落ちる人が出てしまうので、最後は地域の力がとても重要ですが、その地域の方々も笑って暮らすことができなければ、助け合いなどできるはずもなく、だからこそ、町の政治というのは、すごく大事だと思っています)。

そういう意味でも、町議の仕事というのは本当に尊く、面白く、大好きな仕事でしたし、だからこそ(おこがましくて凶々しいですが)、新たな学びを得て、少しでも早く地域社会を変えていける存在になりたいですし、どういう形かはわかりませんが、いつか町のためになるようなことができたなら嬉しいです。(ちなみに私は前々から「議決」と同じく重い「民決(=民の決議、私の造語)」を地方自治法において実現できないかと考えています)。

二度の選挙、多くの方から1票をいただきました。たくさんの方々にも助けられました。そして、町について共に考えたり、アクションを起こすこともしていただきました。本当に感謝がありません。その皆さんの思いを抱え、しっかりと勉強したいと思います。町職員の皆さんにも、心から感謝申し上げます。

今後、何かお困りごとや、知りたいことなどがありましたら、いち町民としてではありますが、相談窓口をお伝えしたり、支援等を調べたり、地域活動のお手伝いをしたり、ということではありますので、ご連絡をいただけましたら幸いです。町内での地域活動、市民活動も、これまで通りやらせていただきたいと思います。



最後の議会。議場にて。

6年7月、議員として働かせていただき、本当にありがとうございました。露木 佳代